

目的 人間の顔は、その形や大きさは、さまざまであるが、それぞれの民族によって特徴がみられる。今回は、エジプト人と日本人の成人男子の顔の各部位の寸法を計測しその大きさと形態についての特徴をさぐることを目的とした。

方法 マルチン計測器を用いて、エジプト人および日本人男性の顔の各部位（顔幅、鼻の長さ、鼻の高さ、鼻幅、口幅、口唇の厚さ、目の長さ、目の大きさ等）を計測し、その大きさと形態について比較検討をおこなった。そのほかに身長、体重、頭幅、頭囲、頭長および足長、足幅、手長、手幅等についても計測し数値的な解析をおこなった。

計測期間および計測場所は、エジプト人は1987年7月から8月にかけてエジプトのカイロ、ルクソール、アレキサンドリア、アスワン、アブシンベル地方に在住する成人男子を対象としておこなった。日本人は、1988年3月から8月にかけて大阪市内およびその近郷に在住する成人男子を対称として計測した。計測者の年齢は、いずれも20歳から45歳迄である。

結果 各設定項目にしたがってエジプト人と日本人の成人男子を計測した結果は危検率/%の差をもってエジプト人が有意に大きい項目は、鼻の高さ、鼻幅、口の長さ、目幅であり、顔以外の部位では、頭長、胸囲、胴囲、腰囲、身長、体重であった。また、日本人が危検率/%の差をもって有意に大きい項目は、顔幅、目長、オトガイ点から鼻下点および頭幅、頭囲であった。エジプト人の顔面は、目が二重まぶたでぱっちりとしてよく開いている。また鼻も高く鼻幅も広い。オトガイ点から鼻下点までの距離が近いために顔の形態が丸形にみえる。